



動物レスキュー通信

2021年10月 第101号 (令和3年10月1日発行)

発行元

一般財団法人 国連世界動物救済支援機構 詩月財団

詩月（しづく）： 詩月財団 理事長
愛玩動物飼養管理士 一級
ペット災害危機管理士 三級

お問い合わせ：sizuku.foundation@gmail.com

ドッグラン

その歴史と役割



ドッグランの役割

ワンちゃんの散歩時にはリードを付ける事を、たいていの地方自治体は条例で定めています。東京都の場合を見てみると「東京都動物の愛護及び管理に関する条例」の第九条には「犬を制御できる者が、犬を綱、鎖等で確実に保持して、移動させ、又は運動させる場合、犬を逸走させないため、犬をさく、おり、その他囲いの中で、又は人の生命若しくは身体に危害を加えるおそれのない場所において固定した物に綱若しくは鎖で確実につないで、飼養又は保管をすること」を犬の飼い主は遵守しなければならない、とあります。この事により、ワンちゃんの飼い主さんは、ワンちゃんと散歩する際にはリードを付けなくてはならないこととなります。そうするとワンちゃんの動きが制限されてしまうため、気の毒だと思う飼い主さんもあるはず。そんな時にはリードを放してワンちゃんを遊ばせる、走らせることが出来る施設「ドッグラン」を利用してみましょう。

ドッグランの歴史

ドッグランとは隔離されたスペース内で飼い主さんの管理のもと、リードを付けずにワンちゃんを自由に遊ばせてあげるための施設です。1991年にニューヨークで、都市部でも愛犬をのびのび過ごさせてあげられるように誕生しました。その後、英国にも同じような施設が誕生し、愛犬家の注目を浴びるようになります。そこから欧米の各地において同じような

施設が誕生し、普及し始めます。この時から約10年後の2002年に東京の駒沢オリンピック公園内にドッグランができ、これが日本で最初のドッグランではないかと言われています。欧米に比べ日本は土地も居住空間も狭く、庭のない家やマンション住まいも多く、リードを外してワンちゃんを遊ばせてあげる場所がなかったことから、多くの飼い主さんからドッグランのような場所を求められていました。現在ではドッグランも様々なものがあり、観光レジャー施設内にある複合施設型、都市公園の一部にある単体型、高速道路のサービスエリア、ペット共生マンションなどにある付帯施設型などもあります。複合施設型は旅行に行った際などに、非日常的に利用する飼い主さんがほとんどで、一般的に設備が充実している所が多く、自然が多く景色が素晴らしい等、その土地の利点を生かして作られている施設が多くあります。単体型は施設の近所に住む人の利用が多く、飼い主さん同士の交流の場としても活用されます。ところによってはワンちゃんの飼い主さんが集まり自治会を作り、管理運営している施設もあります。シンプルなつくり施設が多いが、飼い主教室やしつけ教室などを開催している施設も多々あります。付帯施設型は高速道路のサービスエリア、ペット共生マンションの他にもペット同伴宿泊施設、ショッピングモール、カフェなどに付帯するドッグランで、複合施設型や単体型に比べ小規模のものが多く、構造もシンプルとなっています。

ドッグランはワンちゃんの運動不足やストレス解消はもちろん、飼い主さんとの遊びを通しての絆を深めるほかに、飼い主さんのコミュニティとしての役割もあります。インストラクター、講師を招いてのイベントやしつけ教室、飼い主教室を開催していたり、トリミングサービスを取り入れている施設もあります。また、ワンちゃんのフードやトイレ用品、グッズ、シヨップ等を併設していたり、飼い主さんもくつろげるカフェなどがあるドッグランもあります。そんな快適に過ごせるように考えられたドッグランですが、利用の際には基本的ルールを必ず守るようにしましょう。①発情中のメスは入場できない。②闘犬・攻撃的な犬など、他の犬に与えるものは入場できない。③1年以内に予防接種を受けていない犬は入場できない。④飼い主は自分の犬から目を離してはいけません。⑤フンそのほかの汚物は飼い主が持ち帰る。⑥犬、飼い主間等でトラブルが発生した際には該当する飼い主同士で解決する。⑦その他、利用施設ごとのルールに従う。

ドッグランはワンちゃんにとっても飼い主さんにとって、日常の運動場所、楽しい思い出を作る場所、学びの場所、コミュニケーションの場所等、様々な意味合いのある場所ですが、最低限のマナーを守ったうえで利用するように心がけてください。そうしないと嫌な思いをしたり、せっかくの旅行が台無しになってしまったり、最悪の場合はもめごとで訴訟問題に発展しないとも言えません。飼い主さん同士、配慮、譲り合いながらワンちゃんとのドッグランでの楽しい日常や思い出を作りたい。 (詩月)